

平成 31 年 2 月 18 日付【日本水道新聞】
関西支部＜査定資料作成で協力＞
京都市 災害復旧支援で協定

査定資料作成で協力

京都市 水コン協関西 災害復旧支援で協定

京都市上下水道局は12月19日、全国上下水道コンサルタント協会関西支部および日本下水道管路管理業協会と、災害復旧支援協定を締結した。

京都市で地震や洪水等の災害が発生した場合、市は今回の協定に基づき上下水道施設の復旧支援業務を両団体に要請する。水コン協関西支部は上下水道の管路・施設に関する災害査定資料の作成などを行う。

局本庁舎で開かれた締結式には、山添洋司公営企業管理者上下水道局長と北秀文水コン協関西支部長、山本孝司管路協関西支部長が出席した。



山添管理者(左)と北支部長

山添管理者は2018年を「非常に災害の多い年だった」と振り返った上で、「防災対応が上下水道事業においても大きなウエイトを占める中、関係団体と連携しながらライフラインを守る責務を果たしていきたい」と述べた。

北支部長は、水コン協が公益社団法人に移行したことを踏まえながら「公益性の一層の追求を図ってほしい」と方針を示した。